

研究課題番号	1CN-2203
研究課題名	セルロース誘導体を助剤とするバイオマス粉末押出成形・耐水化システムの確立
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	三重大学
研究代表者名	野中 寛

1. 委員の指摘及び提言概要

バイオマスの活用に有効な資源化の取り組みであり、実用的な観点から研究が計画され成果が挙げられていることを評価する。助剤としての HPMC や CMC を大幅に削減できたこと、HPMC の熱ゲル化特性を生かして、熱プレスにより変形を矯正する手法の開発に成功するなど順調に進んでいる。材料の広報も活発になされ、企業からの問い合わせも多く、また企業との共同研究の成果も出ていることから広く実用化につながることを期待する。一方で、木粉の形状や材質の違いの影響の検討が必要ではないか。本材料でプラスチック製品を代替する場合、温室効果ガス削減量を見積もるため、製造エネルギー（特に乾燥工程）が問題となるので、試算して欲しい。また、査読付き雑誌論文を公表して頂きたい。

2. 採点結果

評価ランク：A